

環境市民の職員研修 パートナーシップ編

のご提案

地域での環境問題の解決、持続可能で豊かなまちづくりを行っていくには、行政だけでなく住民や事業者などの参画が必須とされています。ただ、異なる立場の人々が、協力しながらもそれぞれ主体的に活動し、ひとつの目標に向かってすすんでいくには、それをコーディネートする人が必要不可欠です。これからの自治体職員に求められる力の一つが、このコーディネートの能力です。

コーディネーターは、スムーズに事業運営をすすめるだけでなく、異なる立場の人が互いに協力することによって1+1が2ではなく、3や4にもなるような相乗効果をあげることや、多くの人がある特性をうまく発揮できるように事業を組み立てる役割も求められます。

この講座は、そのようなパートナーシップの考え方、コーディネートのための考え方と手法について、レクチャーとワークショップで学びます。

単発の講演の他、連続講座としての職員研修のプログラムも可能です。ISO研修としても活用いただけます。

■ 主な内容

(1) 持続可能な地域社会づくり

パートナーシップで築く地域社会の将来像を描く手がかかりとして、持続可能な社会とはどのようなものかその考え方と事例を紹介します。

(2) パートナーシップの考え方、事例

地域でパートナーシップが必要となった背景、行政の役割や市民意識の変化などをとらえます。またパートナーシップが成立するための要件やその評価基準など、事例を交えて学びます。

(3) コーディネーターの役割と仕事

地域づくりのなかで、コーディネーターが必要とされる場面、その役割、実際の仕事内容をまなびます。

(4) なかまづくり

パートナーシップの現場では、互いの違いを知って協力することが必要です。受講者同士が互いをしりあうワークショップを行い、その意義や手法を学びます。

(5) 聴く・話す (コミュニケーション研修)

パートナーシップを進めていく上で、住民との対話は欠かせません。そしてその対話は、行政内部とは異なるコミュニケーションが必要です。話すだけでなく聴くことの重要性をまなび、効果的な議論の基礎を身につけます。

(6) 合意形成手法

パートナーシップの現場では、異なる立場の人たちが集まり智恵や力を出し合うことが重要です。しかし、立場が異なるとももの見方も違えば、同じ言葉でも使い方が異なる場合もあります。コーディネーターには、それらを丁寧に読み解き、参加者が納得と共感を得られるよう進める力が必要です。ワークショップを通じて、そのプロセスを体験します。

(7) 効果的・創造的な会議のすすめかた

会議は、参加者のアイデアや意見を引き出し、十分な議論を得た上で合意をとることが大切です。会議のデザインの仕方、場を活性化させる手法をワークショップで学びます。

(8) 企画立案の手順

パートナーシップで行う事業の立て方を学ぶと共に、具体的な企画づくりのプロセスを通じて、(1) から (7) の要素を総合的に学びます。

(9) ケーススタディ・ワークショップ

パートナーシップで計画策定や事業実施を行うときに、実際に起こりうるケースを想定し、それをどのようにうまく、コーディネートしていくのかをグループで考え学習します。



■ 構成

上記要素を必要に応じて組み合わせて実施することが可能です。
ニーズに応じて相談しながら、カスタムメイドで対応します。

■ 対象

主として自治体職員。
ただし、地域住民との合同受講にすることで、庁内及び地域内、双方がパートナーシップの考え方を共有し、実行にむけた効果的な人間関係を築くことも可能です。

■ 講師

パートナーシップ・コーディネートの経験豊富な講師を、本会及び協力団体より派遣します。

■ 所要時間

レクチャーのみの場合は2時間。ワークショップを含む場合は1回4時間×数回程度を基本と致します。

所要時間、回数は、ご要望に応じて相談しながら組み立てます。

■ 対象人数

レクチャーのみの場合は数十人～数百人
ワークショップの実施には、30人/回が効果的です。

■ 費用

受託事業として、講師謝金、交通費等の諸経費の他、企画料を申し受けます。
金額は実施内容によって異なります。詳細は、ご相談ください。



講座のイメージ

■ お問い合わせ



NPO 法人 環境市民

〒604-0932 京都市中京区寺町二条下る 呉波ビル3階

電話：075-211-3521 ファックス：075-211-3531

e-mail life@kankyoshimin.org

URL <http://www.kankyoshimin.org/>